

会計別内訳

会計名	予算額	伸率(%)
一般会計	451億 290万円	3.6
特別会計	国民健康保険事業	90億 5,754万円 △ 1.1
	(事業勘定)	(89億 7,642万円) △ 1.0
	(診療所費)	(8,112万円) △ 4.0
	駐車場事業	4,289万円 3.4
	介護保険事業	105億 1,084万円 0.9
	サービスエリア	797万円 △ 71.7
	後期高齢者医療	13億 5,811万円 2.6
	小計	209億 7,735万円 0.1

会計名	予算額	伸率(%)
企業会計	病院事業	58億 8,803万円 4.7
	水道事業	56億 6,607万円 7.9
	下水道事業	40億 2,318万円 △ 3.4
小計	155億 7,728万円 3.6	
財産区特別会計	島ヶ原財産区	2,969万円 △ 0.1
	大山田財産区	1,254万円 0.0
	小計	4,223万円 △ 0.1
合計	816億 9,976万円 2.7	

※端数処理の関係で各科目と計が一致しないことがあります。

令和5年度

当初予算

をお知らせします

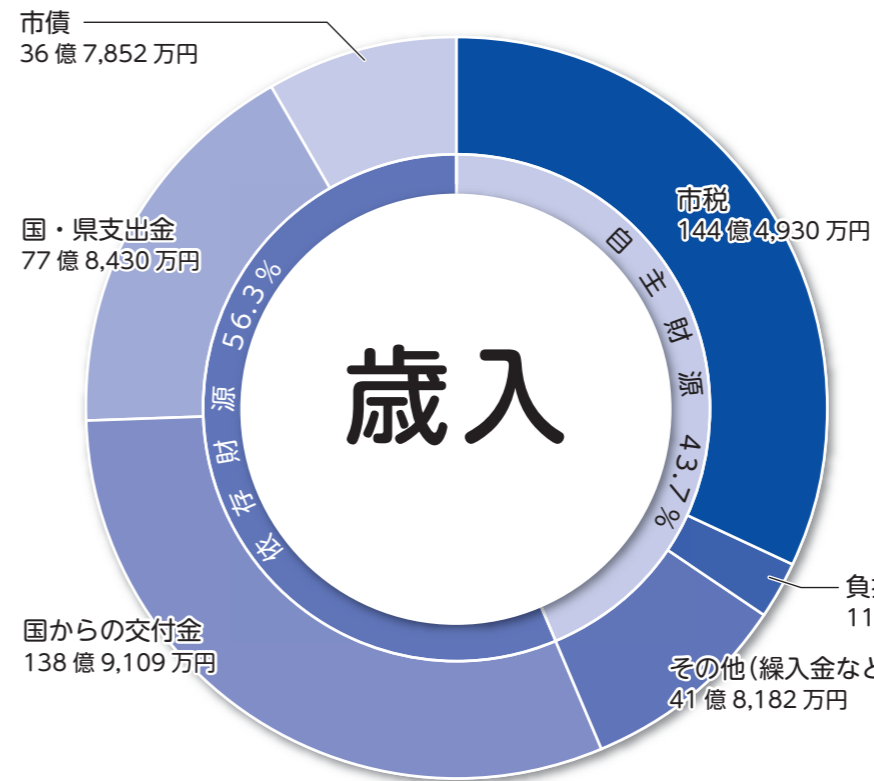
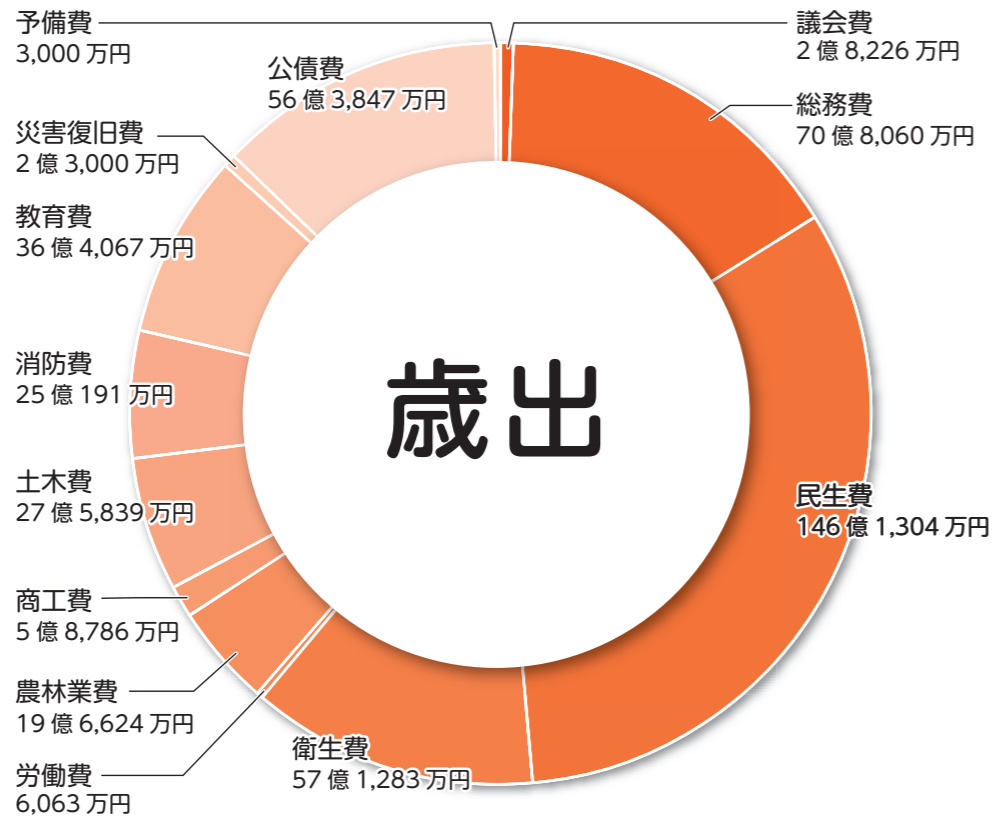
「こどもファースト！未来へ“跳”（ジャンプ）予算」



国では「こども家庭庁」が新設され、子ども・子育てを応援する意識を高め、年齢・性別を問わず皆さんが参加する「次元の異なる少子化対策」に取り組んでいます。

市では、将来を担う子どもは「伊賀の宝」として、より充実した子ども施策を展開し、コロナ禍に負けない、飛躍できる1年となるよう「こどもファースト！未来へ“跳”（ジャンプ）予算」を編成しました。総合計画に掲げる「『ひとが輝く地域が輝く』伊賀市」を実現するため、引き続き「こども・くらし・にぎわい」をテーマに、各種施策に取り組みます。

【問い合わせ】 財政課 ☎22-9608 FAX24-2440 ✉zaisei@city.iga.lg.jp



令和5年度の一般会計

451億 290万円

※自主財源…地方公共団体が自主的に収入できる財源
※依存財源…国や県などからもらう交付金など

用語の解説

◆歳入の部

【市税】 個人市民税、固定資産税、軽自動車税など、市民の皆さんに納めていただく税

【負担金・使用料】 市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など

【繰入金】 基金の取り崩し金や他会計からの繰入金

【国からの交付金】

市の実情にあわせて国から交付される地方譲与税、地方交付税など

【国県支出金】

国や県からの負担金や補助金、委託金

【市債】

市が主に建設事業に充てる借金

◆歳出の部

【議会費】 議員報酬や政務活動費など、市議会の運営に係る経費

【総務費】

庁舎管理など行政内部にかかる経費や、地域振興、住民自治、人権啓発、防災関係などの経費

【民生費】

老人福祉や保育所の運営管理、医療費助成、生活保護費など、福祉全般に関する経費

【衛生費】

ごみ収集経費や、乳幼児・高齢者などの予防接種に関する経費など、環境対策や清掃事業、健康推進などに係る経費

【労働・農林業・商工費】

農業・商工業団体への助成や観光に関する経費など、労働・産業に関する経費

【土木費・災害復旧費】

道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設に関する経費や、災害により破損した道路などの復旧に関する経費

【消防費】

消防、救急活動、防火水槽などの防災基盤整備、消防団本部の運営に関する経費

【教育費】

市立の小中学校、幼稚園の管理運営に関する経費や、文化財の保全、スポーツ振興、青少年育成などの経費

【公債費】

市が主に建設事業のために借り入れた市債の償還に係る経費

【予備費】

地方自治法で設けることが定められており、他の科目で予算執行できない場合に支出する経費

「くらし」



- ③医師確保をはじめ地域医療の充実、地域包括ケアの推進、買い物・通院などの移動を支援します。
- ④一人ひとりが大切にされる社会の実現のため、人権・平和・男女平等・多文化共生・多様性を大切にします。



新斎苑整備運営事業	11億 5,078万円
共同消防指令センター整備事業	7億 96万円
伊賀鉄道活性化促進事業	1億 4,607万円
行政バス運行経費	1億 3,478万円
救急医療事業	9,579万円
スマート自治体推進事業	8,927万円
多文化共生推進事業	1,122万円

「にぎわい」

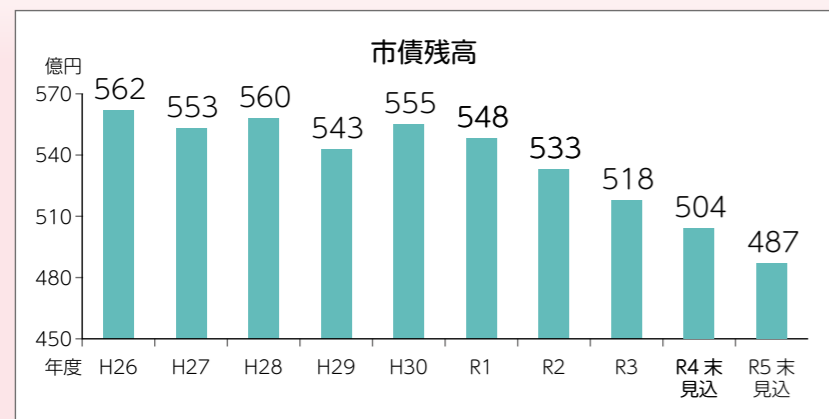


- ⑤「日本の20世紀遺産20選」に選ばれた伊賀上野城下町の文化的景観、農山村の自然環境、旧上野市庁舎の有効活用による観光戦略とにぎわいを創出します。
- ⑥伊賀の可能性を生かした、農林業振興、移住定住、企業誘致、人材育成、雇用創出、新規起業、就農をさらに推進します。



忍者市プロジェクト事業	2億 4,279万円
旧上野市庁舎利活用事業	1億 1,004万円
文化施設改修事業	6,396万円
企業立地促進経費	3,219万円
芭蕉翁顕彰事業	2,618万円

【市債】 (市の借金) 市民一人あたり約56万円



市の借金である市債は、約36億7千万円の借入れに対して、返済する額が約54億3千万円であるため、令和5年度末の市債残高予定額は、令和4年度に比べ約17億円の減額の約487億円の見込みです。

「こども」



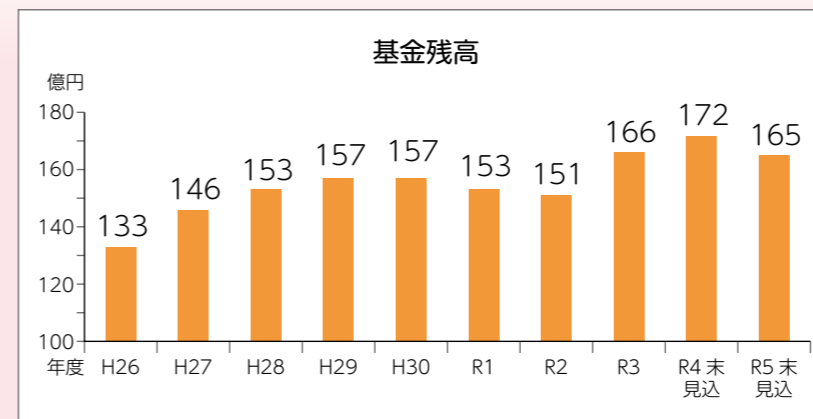
- ①子育て世帯の負担軽減と家計の底上げ、食育と地産地消の推進、小中学校給食の無償化を行います。
- ②子どもの個性を大切にする学力の保障、伊賀らしい郷土教育を推進します。



学校給食管理経費	1億 6,594万円
医療費助成経費	4億 9,569万円
給食センター管理運営経費	5億 6,903万円
施設改修事業 (小学校)	7,464万円
(中学校)	5,695万円



【基金】 (市の貯金) 市民一人あたり約19万円



市の貯金である基金は、各事業を行うにあたり約20億8千万円を取り崩す予定です。また、財政調整基金や伊賀市ふるさと応援基金等へ約13億6千万円を積立てるため、令和5年度末基金の残高は約165億円の見込みです。

令和5年度 主な事業

令和5年度当初予算に計上した主な事業について「こども・くらし・にぎわい」の3つのテーマに分けて紹介します。

